



友愛

題字 前渕 幸信

〒621-0251
 京都府亀岡市
 本梅町平松ナベ倉12番地
 社会福祉法人友愛会 後援会
 TEL : 0771-26-2115
 FAX : 0771-26-3557
<http://www.yuaien.or.jp>
 振替口座 01030-8-42554

【理念】 自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい



山内政美先生の
座右の銘「愛」を
色紙に書いて頂きました



書道教室の様子。皆様、熱心に取り組まれています。



「新年を迎えて」 ～創立40周年を顧みて

社会福祉法人 友愛会 理事長 前淵 幸信

2014年の新春を迎え心よりお慶び申し上げます。旧年中は社会福祉法人友愛会に暖かいご指導とご支援を賜り感謝してお礼申し上げます。

昨年(平成24年)の12月1日で軽費老人ホームは、お陰様で創立40周年記念日を迎えました。社会福祉法人友愛会は現在、軽費老人ホーム、特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、ホームヘルプステーション、居宅介護支援事業所、グループホーム、小規模多機能ホーム、地域包括支援センター(亀岡市委託)と、40年間でここまで成長させて頂きましたことは、関係官庁は勿論のこと関係して下さった数多くの方々(ご家族)の祈りとご支援を頂きましたお陰であります。

社会福祉法人の開設までの事をご存知でない方が多いかと存じます。顧みますと、今から45年前に遡ります。

私が老人ホームの建設という一大決心をするまでのいきさつにつきましては、友愛第43号(平成24年7月1日発行)に掲載させていただきました。今回はその続きからお話させていただきます。

私は老人ホーム建設を計画することにしたのですが、「そんなこと出来るのか」と私の心の中でささやく声がありました。しかし、思い切って発表しました。最初はみな「素晴らしい。協力しよう。」という感じでしたが、日が経つにつれて、「そんなことは夢みたいなことや!」と、反対者も出てきました。そんな中で教会のご婦人たちが、資金づくりのために、タオルケット、毛布、シーツ、西陣織のお召や帯、ネクタイ、マフラー等の販売に協力をしてくださり、買う人と売る人との出会いの楽しい雰囲気も見られました。教会の父親のような長老から「信仰は冒険ですよ。成功を祈っていますからね」と励まされた言葉が今も忘れられません。或る日のこと、広い池の向こうに燦々と輝く白い素晴らしい2階建て建物が建っていました。驚きの老人ホームが建っているではありませんか。驚きと喜びに浸る瞬間、あっ夢だったのかと気付きました。この夢は不思議な光景でした。

聖書に「若者は幻を見、老人は夢を見る」と書いてあります。しかし、やっぱり夢だったのかという思いの日もありましたが、夢は急転し現実ものとなりました。不思議とは想像の及ばない出来事のことです。沢山の皆様のご協力(ご協力)で建設目標募金額が、思いがけなく達成しました。夢にまでみた老人ホームが幾多の試練を乗り越えて完成した時は、やはりこれは夢ではないかと自分を疑うような気持ちでした。

もう、あれから40年(40年)が経ちましたが次の夢は特別養護老人ホームの建設でした。これもまた建設は不可能と思いつつも、希望は捨て切れず多くの方々にご協力をお願いし続けました。年々高齢化社会の対策が問われる中、22年間の祈りで寄せて頂いた支援金で隣接地を譲って戴くこととなり、夢の特別養護老人ホームを始めデイサービスセンターやホームヘルプ事業を、そしてグループホームを建設することができました。

沢山の皆様のご協力と神様から与えられた使命が、現在も脈々と老人福祉の活動として続いています。

法人の経営理念は『自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい』
(隣人とはすべての人のこと)



亀岡市地域包括支援センター 友愛園

地域ケア推進会議

地域ケア会議とは：現在、地域で生活する高齢者の多方面からのケアを一体的に提供できる地域の体制である地域包括ケアシステムの構築が推進されています。それと同時に、高齢者が尊厳を保持してその人らしい生活を継続できるように、ニーズに応じた多様な社会資源の適切な活用を支援する包括的・継続的なケアマネジメントの有効活用も期待されています。このような高齢者個人に対する支援の充実とともに、それを支える社会基盤の整備を行うのに有効な手段の一つが地域ケア会議です。



畑野町地域ケア推進会議

地域包括友愛園も、担当地域で地域ケア推進会議を開催し、地域に抱える問題の抽出や解決に向けての話し合いを、自治会・民生委員・関係事業所や関係機関の方々と行っています。



認知症キッズサポーター研修（東本梅子供育成会）

H25年11月16日（土）に東本梅町子供育成会の方を対象に認知症キッズサポーター研修を行いました。地域の小学生の皆さんに「老いる」ということはどういうことかを体験を通して感じてもらい、「認知症」とはどのような病気なのかを寸劇を通して考えてもらいました。意見交換では、「劇などがあって良かった。」と話してくれた女の子や、保護者の方も「当たり前でできていたことができなくなる不安を感じた。これから自分に何ができるのかと考える機会になった。」と話してくださいました。今回感じて頂いた思いを持って日常生活を送ってもらえたら、色々な方が住みやすい地域になっていくのではないかと感じました。



亀岡市地域包括支援センター 友愛園
 TEL: 0771-26-0056 FAX: 0771-26-5929

担当地域
 本梅町 ・ 宮前町
 東本梅町 ・ 畑野町



この度、機関誌「友愛」にお寄せいただいた、ご家族の方々よりの寄稿をご紹介します。



「楽しい書道教室に」

特別養護老人ホーム ご利用者ご家族 山内 政美 様

(福)友愛会設立の精神に感銘し、此の度貴園に書道教室を開設していただき、亀岡友愛園入所者の方々と共に書道に取り組む事になりました。

不肖私も「愛」の精神を大切に私の人生訓の一つとしております。

「愛」の心とは、常に相手の立場に立って考え、自分の真心を尽して接する、即ち誠心誠意対応することであると考えております。

実は、私の妻(96歳)が此の度亀岡友愛園様のご配慮をいただき特別養護老人ホームに入所させていただいておりますが、職員の皆さん全員の方が(福)友愛会設立の精神をしっかりふまえられ「愛の心」を持って接して下さりまして、妻もいつも感謝の気持ちで日々を過ごさせていただいております。私もこんな幸せなことはないと思っております。



今回、開設していただきました書道教室も友愛精神を根本にすえ、みんなが書くことを通して、友人との絆をより強め楽しい園内生活を過ごせるようにしていきたいと考えてのことからであります。

毎月1回、7月より始め過去4回、多くの皆さんに参加していただいております。書道の用具はみな園の方で用意していただいております。

書に取り組んでおられる時は、みんな真剣で、何もかも忘れて楽しんでおられる様に思います。又その様に取り組むことが大切な一面であり、近年よく耳にします生涯学習の一環でもあります。この様に園内に書道教室を設けていただいたことは、理事長さんをはじめ関係者の方々の良きご判断の結果だと感謝しております。

今後も一人でも多くの方々にご参加をいただき、繁雑な日々の生活から開放され、ひとときではありますが、何もかも忘れて書くことに没頭してみようではありませんか。私も一緒に楽しませていただきます。

最後に皆さんのご健康と幸せをお祈りして擱筆致します。



「亀岡友愛園との出会い」

特別養護老人ホーム ご利用者のご家族 木谷 永子 様



出会いは至る所にありますが、亀岡友愛園と母の出会いは大変印象深いものでした。母は、「ほのぼのユニット」に3年半前からお世話になっています。丹後地方で一人暮らしをしていましたが、10年前からさまざまな症状が出始め認知症と診断されていました。故郷を離れることを拒み続けていましたが、何とか説得をして7年前に私達夫婦との同居へとこぎつきました。

その頃、通所の小規模多機能ホームでお世話になっていましたが、慣れない土地でのストレスから徘徊等を繰り返し途方にくれていました。

おりしも特別養護老人ホーム亀岡友愛園のユニットの増床を知り、入所は何年先になるか分からないと思いながら、当園を訪問しました。職員の方々が親切に相談に応じて下さり、入所の手続きを急いでしました。それから、まもなく入所の許可がおりました。早期入所の朗報はたいへん大きな喜びでした。

入所後すぐに、発熱や栄養不良から病院に入院をすることもありました。退院後は食べ物を飲み込むこともままならず生命の危険さえありましたが、職員の皆様はじめ多くの方々の手厚い介護で、口から流動食を摂取できるほどに回復しました。母の症状は悪化することはあっても、良くなることはないと思っていた私にとって、このことは奇跡とも思えることでした。

今はほとんど寝たきりの生活ですが、母の温かな表情から、スタッフの皆様が日々温かく接していただいているお姿と、93年間生き続けている重みを感じずにはおられません。亀岡友愛園は私達母娘にとって救世主であったと言って過言ではありません。その出会いを得られたことに感謝を覚えずにはおられません。

最後になりましたが、当園のますますの御発展と皆様のご健勝をお祈りいたします。



「母と亀岡友愛園との出会い」

特別養護老人ホーム ご利用者のご家族 福井 千枝子 様

母と亀岡友愛園との出会いは、6年前になります。

母は、娘を早く亡くして孫達二人を大きくして、その孫たちも今では、家庭を持って居ます。

母は、これまでの間、いろいろ苦勞が有り、それを乗り越えて、90歳になってだんだんと身体も弱ってきていました。

初めてデイサービスに行くようになりました。しかし、初めは、随分抵抗が有った様でした。でもケアマネージャーさんがすごく良くして下さい、少しずつ馴れて来て、私も家の者もやれやれと思っておりましたが、娘婿との諍いがある、母は家に居られない様になりました。

私も家庭があり、母の世話ができないので、居宅介護支援事業所へ相談に行きました。居宅介護支援事業所のケアマネージャーさんは、家の事情を理解してく下さり、最初は京都市内の施設を紹介していただきお世話になりました。しかし、長くはいられなかったために、私が亀岡にいるため、亀岡の特別養護老人ホームを調べていただきました。そこで亀岡友愛園があり、少し待っていたら亀岡友愛園へ連れて行っていただきました。

亀岡友愛園の職員さんと初めてお会いでき、本当に良かったと思いました。亀岡友愛園での出会いは、母にとって本当に良い所へお世話になったと思います。

最初は、母は、京都から来ましたので亀岡の方が多いい中で少し抵抗が有ったみたいでした。少しずつ馴れて来て、亀岡友愛園の生活が楽しくなり、皆様といろいろな事をお話できるようになりました。

母はもう102歳になろうとしています。その間、入退所を繰り返し亀岡友愛園にお世話になり、もう駄目かと思うことも何度かありましたが、その度に職員の皆さんが本当に家族の様に暖かく迎えて下さいました。母が安心して寝て居る姿を見て、私は嬉しく思います。

職員の皆様には、心から感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。



地域密着型サービス事業所 すずらん
小規模多機能ホーム・グループホーム

さまざまな活動♪



コースター作り中…上手く出来たら
おやつの際に使おうかな



「つながり」 小規模多機能ホーム 介護員 稲葉 久美子



1日15人までの通所サービスにも思わぬ出会いがあります。
「あれ、〇〇さんか元気にしてはったか？昔よう田んぼで会ったな。」
「〇〇ちゃんか、こんな所で会うとは～」
生まれた里が一緒に、年齢は違うけど姉妹が仲良くしていたことや、カラオケ教室に昔通っていて親しくしていたこと等があります。
昔に呼ばれていた名前等で、声をかけられるとドキッとされた後、誰だか分かれると一気に会っておられた頃に戻られる様で、表情も明るく懐かしそうに話されています。
改めて、その人その人の繋がりがあり人生があるんだなと感じます。
また、すずらんで出会って顔なじみになり親しくなられている方もおられます。
「ここ出会ったのは何かの縁やな。」と話される方もおられ、職員も含め、すずらんで出会った、ご利用者とのご縁をこれからも大切にしたいと思っています。

ボランティアさん

月に1回ハーモニカボランティアの方がこられます。その時に最近のニュースの事や昔の話をしたり体操などして、ちょうど気持ちがあがった所でハーモニカを弾いていただき、ご利用者と一緒に楽しく歌います。



余部町文化祭

月に数回、地域手芸があります。そこで地域の方と一緒に作った物を毎年余部の文化祭でバザーに出しています。売上げは手芸用品の材料費として使わせて頂いています。



ふれあいサロン



なかなか難しいよ〜。出来上がったのは、玄関に飾ってあります。



余部町自治会と民生委員主催で月に1回あります。その月によって内容は様々です。時々参加させて頂いています。

〒621-0806

京都府亀岡市余部町中条17番地

TEL・FAX 0771-20-2840

小規模多機能ホーム・グループホームすずらん

見学・相談に来られる際は一報ご連絡下さい。

軽費老人ホーム・訪問介護・居宅介護支援

軽費老人ホームでは50名のご利用者の皆さんが生活を共にされています。一日の過ごし方はおひとりおひとり様々です。外出をされる方、園内の活動に参加される方、ご自分の居室で過ごされる方など様々です。また来園してもらう方も多く、廊下にはどなたかが話をされたりする姿があります。



言葉にしてみると普通のことですが、こういったことはとても大切なことだと思います。

来園された方から時折、「人間関係が希薄になっている世の中でこういった長屋的な雰囲気がとても和みます。」とお話を聞くことがあります。この暖かな雰囲気を作っておられるのは？建物や環境といったこともあるかもしれませんが、私は軽費で過ごされている皆さんのどなたにもやさしく「ありがとう」と感謝をされる姿こそがこの雰囲気を作っているのではないかと思います。

以前、ご利用されていた方にこんな話をしてもらったことがあります。「実は私、この友愛園には来たくなかったんや。体も悪くなってきたし・・・でも入居してみても私より10歳以上も年上の方が頑張ってる姿をみると、私も頑張らないという気持ちになってきたんです。」軽費に入居されてからも居室で塞ぎがちで、どなたとも交流されていなかったのが、ある日を境に笑顔が増え外に出てこられることが多くなったので、お話を伺うとこのように答えてくださいました。

周囲への感謝の心、前向きに努力される姿に、幾度となく出会ってきました。今も昔も変わらないこの心を私も受け継いでいきたいそう思っています。

軽費老人ホーム亀岡友愛園 前瀬 豊

地域の方と共に・・・

今年度も地域へと出向いて、皆様と交流する機会が沢山ございました。京都学園大学体育館にて開催されました「かめおか体操祭」では、300名ほどの参加者の中フラダンスを披露し、会場の皆様から大きな暖かい拍手を頂きました。

地元本梅町の文化祭には、今年度は世界遺産「富士山」にちなんだ共同作品を出展。ほか、利用者様それぞれの力作を展示して頂き、見学の際には、地元のみなさまの作品も堪能しました。



かめおか体操祭にて



文化祭当日
出展するお花を生
けています



貼り絵作成中！



今もお世話になって
おります利用者様と
ヘアサロン【Joie】
佐竹真子さま♪



施設のほど近くの団地に、素敵な美容室があります。散歩の途中に発見された利用者様からの口コミで、軽費の何人もの利用者様がお世話になり、素敵に仕上げてくださいとのことで、喜んでおられます。

そんな中、お客様として何度か訪れておられた利用者様がお亡くなりになりました。しばらく施設の方で、お骨を預かっていることを聞かれたオーナーの佐竹様は、お骨に手を合わせに、お母様と一歳になる息子様と一緒に、花束を持って施設を訪れてくださいました。

思いがけない優しいお心遣いに、職員も心暖まる気持ちとなりました。



軽費老人ホーム 亀岡友愛園
 TEL 0771-26-2310
 FAX 0771-26-0880

突っ走ってきた、この11年、そして、今新たな出会い

居宅介護支援事業所ケアマネジャー 松田 裕子

6年前に、この友愛機関誌に「ケアマネ業、5年目を迎えて思うこと」と題して、掲載して頂いてから、早くも、その倍の年月が経過した。その当時の投稿内容には、ケアマネジャーの仕事量の多さに、5年目を迎えた私は「日々の忙しさに追われてため息が出ることは（今も）変わらない・・・」と記していた。しかし、「この仕事は天職なんだ」としみじみ感じているとも綴っていた。では、11年目を迎えた今は、どうなんだろうと自分に問うてみれば、やはり改めて「忙しい仕事だなあ」と正直な感想。そして「人との出会いは楽しい！この仕事について良かった」という思いがこの6年間で更に増し、大満足している。デイサービスやヘルパー支援などを利用することで、活気が無かったご本人や、介護疲れに悩むご家族の表情が、笑顔に変わっていくご様子を拝見する時が、最も嬉しい。

この秋から、微力ながら当施設の軽費老人ホームの宿直業務をさせてもらっている中で、私が一番ワクワクする時間帯というのは、何と言っても、食堂に集う入所者さんとの朝の挨拶。一日の計は朝にあり、である。元気いっぱいの笑顔と「ご苦労様だね」の一言が、宿直業務で疲れた心を癒してくれる。かつての投稿の一節に、私自身のモットーは「いつも笑顔で元気よく、ご利用者やご家族の気持ちに添いながら親身になってお話を聞くこと」と記したが、今後もそれを忘れずに、更なる新たな「出会い」を大切にしていきたい。



「お・も・い・や・り」

ホームヘルパー 堀越千鶴子

小5のある朝、登校中の転倒にて、左足を痛め、右足の支えなしでは歩行困難になり、身障者になってしまった。

小6から中3まで舞鶴の養護施設で親元離れ療養生活、高校は下宿生活、その後京都へ就職で寮生活、家族との縁の薄い生活だった。施設での生活は、今の私の原点で、重い障害を抱えて頑張っている人が沢山いて、軽い障害の私は、自然と介護が身に付きました。手術で動けない半年は逆に、介護して頂く側の気持ちも勉強になりました。

30歳半ばのある日、一枚のはがきが届き、あの施設からの同窓会の案内でした。懐かしく出席すると、重い障害を抱えた人たちも、家族に支えられながら出席されていた。あの時小さかった子供も成人になり、支えるお母さんも年を取り大変な重労働。それまで障害者という甘えで、人を助けられるなんて思いもしなかったが、自分も何かできるのではないかと思う様になり、母も67歳で癌で亡くなり、同居していた養父も介護することなく亡くなり、何か物足りない気持ちで、ヘルパーの資格を取りました。すぐに友愛園のヘルプステーションに採用して頂き、訪問させて頂くと「ありがとう」の言葉や、待ってくださっていることを聞き、こんな私でも、人の役に立つことが出来る喜びでいっぱいです。

ヘルパーとして10数年沢山の出会いの中で、人生の大先輩の利用者様から教えて頂くことも多く、老老介護で一日中休むことのできない介護に疲れ切った家族様、独居ターミナルの方など、疲れと不安との生活を、ヘルパーとして少しでも安心して休んで頂けたらと、介護保険という時間や制限の中、自分自身の気持ち（まだまだお手伝いしたい）と矛盾を感じながら、あの施設生活で学んだ接遇、寄り添い、痛みのわかる、お・も・い・や・りを忘れずに、訪問時に少しでも「ほっ」として頂けるお手伝いが出来ればと思います。



居宅介護支援事業 亀岡友愛園

TEL 0771-26-0039

FAX 0771-26-5929

亀岡友愛園ホームヘルプステーション

TEL 0771-26-0038

FAX 0771-26-5929

特別養護老人ホーム・短期・通所

「利用者さまから教えていただいた事」

特別養護老人ホーム ほんのぼのユニット 介護員 辻井 千都勢



ご利用者と一緒に作成した人形



「ニャンコの姉ちゃん」私のことをいつもそう呼んでおられた利用者さまがおられました。その利用者様が、後に私の人生を大きく変えていく事とは思っていませんでした。

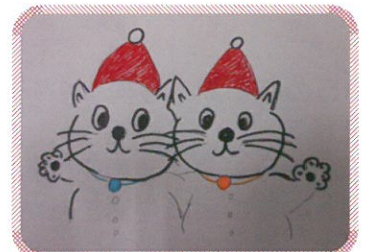
とても手先が器用で時間があるといつもわらじを糸で編んでおられ、糸の色彩もとても綺麗で大きい物から小さい物まで作られて、作っては関わった職員に気前良く渡される為、職員は何個もわらじを持っていました。



ご利用者作品のわらじ

ある時から洗濯バサミを使ってネコのピンチを作っておられ、「ネコ好きなんですか」と昔飼っておられたネコの写真を見ながら、ネコ好きの私は話を聞きいつか私に何か出来る事は無いかなと思い、絵心の無い私はボードにネコをモデルにした絵を書き始めました。

ひな祭り、豆まき、端午の節句、梅雨、海水浴、食欲の秋、こたつでミカン、クリスマス、お正月、どれも「かわいいなあ」と言ってもらいたくて、笑ってもらいたくて書き続けました。針を持つのが苦手な私と一緒にネコのぬいぐるみを作り大切に持って下さいました。その時に作った針は今も大切に取ってあり、私の宝物となっています。



ある時「昔、花も作ったことがあるんやで〜。」「どんな花ですか。」「名前を忘れたけどワイヤーで〜。」昔作った事のある私はすぐに分かりました。「今度一緒に作りましょう」と約束をし、作ろうと思った矢先に体調崩され入院されました。なんとか、退院された時に渡すことができ、約束は守れました。



辻井さん作品 アメリカンフラワー

日々体調を崩され入院が長くなりましたが、ベッドのそばにはいつもネコのぬいぐるみがいましたね。今もそばにいますか。誰の為でも無くわらじを作り、喜んでもらう顔を見るのが好きだった利用者さま。私は出会って人を笑顔にする事、人に少しでも幸福な気持ちになってもらえる事を教えていただきました。その心の温かさを受け継いで、せっせと二人で作りたい花を作っています。

天国でみてみてくださいか。



口腔ケアとご利用者の繋がり



特別養護老人ホーム 太陽・ことぶきユニット 介護員 小寺 裕太

皆様にとっての口腔ケアとは、どのようなイメージをお持ちでしょうか？「口の中を清潔にすること？」口腔ケアを学ぶ前は、単純なイメージしかありませんでした。しかし、いざ現場に立って御利用者のケアを行った時、その単純な考え方を改めさせられました。

一言で言うなら「人によってこんなにケアの仕方が違うの？」と驚いてしまう程でした。なぜなら、口腔内はおひとりおひとり特徴があり、その方に必要なケアの方法があり、また、歯ブラシも数種類あり、始めは覚えるのに苦労した事を今でも覚えています。

それから、私が入社1年程たったころの話に変わりますが、3Fで口腔担当を任されるようになりました。始めは「口腔担当で何をするの？」という具合に、何が何だかわからない状態でした。しかし、同じ担当の先輩に勉強させていただき、その中でいろいろな取り組みを行い、ご利用者と関わっていく中で、口腔ケアがいかに高齢者にとって必要な事なのかを学ぶことができました。

その中でも、歯科衛生士との出会いが私にとって大きく、今でも日々勉強をさせて頂いています。歯科衛生士とは、ご利用者の口腔内をリサーチし、よりベストな口腔ケア方法を見いだすスペシャリストです。私達、口腔担当者は歯科衛生士からアドバイスや、ケアの伝授などを受け、他の職員に情報を発信しています。歯科衛生士と連携をとりながら、利用者さまの口腔内を守っています。



食後の口腔ケア



歯科衛生士によるベッド上の口腔ケア

そこで、私が経験した口腔にまつわるエピソードを紹介したいと思います。前回の機関誌の記事にターミナルケアをされた方の御家族の手紙が掲載されました。ターミナルケアとは、園で終末を迎えられると言う事です。私も他の方ではありますが、終末ケアを迎えられた方に携わらせて頂く機会がありました。私は夜勤シフトで勤務していたのですが、出勤時に別ユニットの夜勤者から引継ぎを受け、「ターミナルを迎えられるかもしれない。」と報告を受けました。

すでに家族の方も来られており、お部屋で側に付き添い過ごされていました。私はとにかくその方に「自分が出来るベストなケア」を必死で考えました。排泄、体位など出来るだけ苦痛を感じないように少しでも、少しでも、という気持ちでケアを行いました。

その中でも口腔内が乾燥しないよう特に気をつけました。スポンジブラシを使用してお口の中に水分でうるおいを与え、うるおいを保つように口腔保湿剤を使用して、舌の乾燥など苦痛が軽減できるよう小まめに行いました。家族の方は、職員が訪室する度に「ありがとうございます。おばあちゃん良かったな。少しは息もしやすくなったやろ？」とご本人に声を掛けられていました。

その日の朝方、太陽が顔を出しはじめたころ、その方は、旅立たれました。家族の方からは涙ながらに、「こんなにいい職員の方たちに出会えて母は、本当に幸せだったと思います。ここで最期を迎えられて本当に良かったです。」とお言葉をいただきました。その言葉を頂き涙がでそうになりました。この出会いを経験し、口腔にたいする気持ちも高まったと思います。

今後も口腔担当として、磨きをかけ少しでも多くの利用者さまの役にたてるように頑張りたいと思います。



特別養護老人ホーム・短期・通所

TEL 0771-26-2115

FAX 0771-26-3557

月別 献金者 ご芳名

社会福祉法人友愛会のために、用いて下さいと
て尊い献金を寄せて下さった方々のご芳名を月別に
報告させていただきます。

2013年4月～2013年9月までご厚情をいただいた
方でございます。(敬称略順不同)

2013年4月

京都聖徒教会 佐々木初代 高野あい子 河内征治 野本誠喜
長屋光行 長屋郁子 安倍恵子 (有)PCSA ソフィア 藪内淳雄
前渊幸信 滝岡マスエ 阿瀬安子 清水知子

5月

長屋光行 長屋郁子 森本百合 なでしこ美容室(株)
京都聖徒教会 吉川幸宏 亀岡インマヌエルチャーチ村西伸一
小畑 義 小畑智恵子 山根芳枝 安部恵子 清水知子
(有)PCSA ソフィア 藪内淳雄 阿瀬安子 滝岡マスエ 前渊幸信
野本誠喜

6月

京都聖徒教会 長屋光行 長屋郁子 龍谷大学社会学部 安倍恵子
藤田抄子 野本誠喜 (有)PCSA ソフィア 藪内淳雄
前渊幸信 清水知子

7月

稲川はつを (株)親愛 京都聖徒教会 長屋光行 長屋郁子
(有)PCSA ソフィア 藪内淳雄 安倍恵子 澄川満喜子 藤田抄子
野本誠喜 清水知子 阿瀬安子 前渊幸信

8月

京都聖徒教会 佐々木初代 長屋光行 長屋郁子 古賀富子
(有)PCSA ソフィア 藪内淳雄 安倍恵子 前渊幸信 阿瀬安子
清水知子 野本誠喜

9月

京都聖徒教会 山脇さかゝ 学校法人大阪歯科大学 野本誠喜
長屋光行 長屋郁子 本梅町民生児童委員会 本梅自治会
(有)PCSA ソフィア 藪内淳雄 安倍恵子 前渊幸信 清水知子
森川晴海 阿瀬安子

後援会会員名簿

社会福祉法人友愛会後援会の皆様には、平素から
格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

年2回「友愛」の機関誌を発行して、後援会費の
名簿を掲載し、ご報告にかえさせていただきます。現在
会員数は、246名でございます。(敬称略順不同)

五十嵐洋子 茨木房江 大石迪子 大海知子 今村千登士 安部哲子
安部洋子 柏木尚子 井田厚司 岩森芳晴 岩森美知夫
八田幸子 菅原千代子 阿瀬安子 岡部友子 大西竹次 太田和子
井川英子 川合よし子 亀岡聖書バプテスト教会牧師 西牟田修一
北中昇 北中長夫 京都ハリストス正教会婦人会 上島滋之

小林久 小森京子 近藤和江 小谷二郎 神山増枝 木下信行
樫晴美 川島浩一 川島奈保美 山内敏正 佐伯昌祥 澄川満喜子
菅恒敏 菅洋子 塩貝馨 塩貝咲枝 千田路子 佐々木初代
丈達末子 阪口清 清水潔 清水知子 酒井ひとみ 玉村光子
竹田キヨ子 椿則彦 滝岡マスエ 長尾研司 中川紀子
中村育子 中西俊弘 平野艶子 秦しづゑ 藤野孝雄
菱川幸 人見光雄 前渊博明 前渊美佐子 森見真次 森見良子
水谷明子 南勝司 森川春海 森やよい 森本百合 保田ひさみ
吉川幸宏 山本富美子 山内友子 山本尊英 山本千里 山田サトエ
山下ヨシヲ 今井富佐三 山本貴美 中川美治子
リンカン・リチャードベル・節子ベル 中村祥子 廣田幸一
廣田晴美 中野幸男 中野みさ子 川村秀隆 田中田鶴 今西儀夫
今西光恵 浦野とし子 新開千恵子 清水敏子 金谷恵美子 澤田久子
押本年真 松谷トシエ 竹ヶ原政輝 横田明子 井上宏美
永田真一 永田真由美 丹羽はるみ 岩崎純一 岩崎栄子
小畑義 小畑智恵子 小畑光 小畑幸代 畑みさ 藤田抄子
福島明美 中川みち 高屋陽子 足立麻子 佐橋光子
北村直子 小谷真奈美 片山清子 片山節子 井本保子 遠山ミチ子
平野ふじ江 森美由起 芦田信美 芦田初枝 小林美矢
阿久根由美子 中村恵子 多門妙子 宅間恒子 伊藤望 大石迪子
大西啓造 大西幸子 松岡千栄子 千足創三 千足和子 安福美代子
植村良彰 廣澤悦子 三瀬昌子 韓守信 澤野井慶子 村上宏
村上すみ子 三村幾久子 高畑恵子 力石明子 神戸照代
樋口久美子 岡田淳子 王鞍敏一 王鞍静子 中村弘子
山田節夫 山田絢子 木村文司 杉萬喜 西村加寿子 高塚勝
高塚節子 清水るい 藤井ムツ子 東愛子 前渊幸信 藤井操
中西仁美 前渊豊 岩本健二 中村美恵 内藤徳男 福庄隆樹
川村健司 前渊功 小早川広恵 能勢幸浩 古庄幸子 松尾知恵子
蔭山佐代子 中澤妙子 松田裕子 吉田美穂 伊藤真由美
福知京子 木下洋子 笛吹優希 佐井儀男 桂宏美 人見晶子
川勝沙紀 森田俊則 山下淳末 長澤佳子 津崎順也 沖春菜
山田亜津実 河原祐輔 新久雄 林陽子 石田由香里 松本弥生
村田享子 辻井千都勢 大八木末美 塩見和江 石野多嘉子
浅田英之 小森優香 加納裕高 稲葉久美子 河原麻衣 坂本直子
米田弘子 山形なぎさ 末次薫 蔭山紀子 磯村美佳 澤田尚樹
谷垣奈央子 福田朝 池山真由 友松浩一 福岡紘和 井内彩生
小森智仁 小林純 高坂洋介 上田都子 柴田一馬 森悠依
角山香織 岡林美智代 清川弓子 矢野真奈美 瀬野朝子 森岡美里
倉石賢治 人見英津子 富田真樹 松本理恵 五代喜代美 川坂由佳
大下美和 栗田一平

編集後記

今回より、ご家族・地域の方からの生の声をいただく
寄稿コーナーを設けました。3名の方々より寄稿を頂戴
いたしました。この場をおかりしてお礼を申し上げます。

今後も投稿を大募集いたしますので、どしどしご意見
をお寄せください。連絡先 0771-26-2115